

めだかの学校だより

平成 16 年 11 月 1 日
第 46 号

学舎：東久留女木新田観音山
「みどりの郷キャンプ場」内
事務局：引佐郡引佐町
東久留女木 472-111
TEL053-545-0381

校長訓話

第四十六回校長 水島 加寿代



《出会いに感謝！》
写真は先日「遠州横須賀街道ちつちやな文化展」(大須賀町)を訪ねたときに撮影したものです。千葉県から毎年参加している陶芸家・平厚志さんを中心に、三河と浜松の友人とパシヤリ(帽子をかぶって太い腕を

振り上げていているのが私)。われながら、なんと幸せそうな顔…。お気に入り写真の一枚です。
友人から、私はよくこんなことを言われます。「こじゃしたレストランでデートしているときより、三遠南信の町でコップ酒をあおっている方が水島は幸せな顔をしている」と。「凶星」なことが、少々心配な今日このごろです。

そもそも私が三遠南信を訪ね歩きはじめたのは、照井易子めだかとお出会った約10年前がきっかけになるのでしょうか。照井女史の「手造りビール」を取材したこと、いろいろな集まりなどにも一緒に顔を出させてもらうようになり、次々めだかの皆さんをはじめ各地の方々を知り合うことができました。それまでも取材ライターという仕事柄、多くの方とお目にかかりお話を伺う機会は多くありました。しかしその後もまた会いたい、話を聞きたい、と思う方はそう多くはなかったように思うのです。
それが三遠南信の繋がりは、類は類を呼ぶというのでしょうか、地域づくりに燃えている人や、独自の作品づくりに打ち込む人、黙々と勉強を続けている人など、実の詰まった人たちが次から次へと登場す

ることにびっくり。そんな方々と出会い、話をするのが大好きになつてしまいました。
こうした皆さんに共通しているのは、「見栄やはったりではなく、実に自然体で自らの情熱を持ち、一歩一歩前に向かって進んでいること」だと思えます。敷かれたレールの上を歩くのではなく、レール造りから手がける。つまり生かされている人でなく、「生きていく人」だということ。私はそこにとても魅力を感じ、そうした皆さんのエキスをががんと吸わせてもらおう!と思っているのです。

先日の大須賀町でも、街道を歩けばお知り合いに会える!のごとく、たくさんの方々と行き会ふことができました。佐野文子めだか、大橋町代めだか、尾上美智子めだか、上嶋祐志めだか、鈴木真弓めだか、湯浅明美めだか、松本芳廣めだか、鳥山剛めだか、溝口久めだか、耳塚信博めだか、まだまだいっぱいの方々様。おかげで楽しさが倍増したことは言うまでもありません。そんな幸せがにじみだした写真が、このシヨットだというわけです。これもめだかの生徒であるからこそその賜物ですね。本当にありがとうございます。
これから、水島はあちこち出没しますが、どうぞ面倒みてやってください。ちよびりのエサと、ちよびりのアルコールを与えていただければ、それほど害は無い生き物のもりです。

めだかの学校伝言板

——第 46 回めだかの学校を開校するので出席しなさい。

校長／水島加寿代
教頭／加茂光廣
用務員／原田憲治
給食係／古橋利雄・徳増兼弘・原邦司・萩田博
藤田吉恭・藤田潤吉・藤田久枝・八木正子
北野美津子・手塚チエ子・牧野久子
湯浅明美・渡辺三ツ子(チーフ)
〈学舎〉静岡引佐郡引佐町東久留女木観音山
観音山みどりの郷キャンプ場
TEL なし

開校日／平成 16 年 12 月 3 日(金) 6:20PM より
受付／池田誠二郎・土屋誠一・千葉弓江
齋藤昭(後見人)

〈時間割〉～ライフワークと自分勝手の違いは?～
・一時間目／技術家庭科「そのまんま服部工房」
服部守孝先生
・二時間目／理科「わたしのこだわり おいしい大根づくり」
大谷香代子先生
・三時間目／社会経済「夢と現実のはざまの2人旅」
藤野利昭先生
※給食の時間ー「年忘れ給食」お楽しみに…
最後は「おしる粉」で乾杯!

めだかの動き

泳ぎ回るめだかたち

■2004 第6回ぐるっと浜名湖一周マラニックを終えて

10月10日(日) 浜名湖一周80kmを全
 国のランナー仲間と楽しみました。ス
 タートは湖西市入出の私の友人が所有し
 ている湖の家からである。スタート時間
 はそれぞれペースに合わせて、5時
 6時7時と時差スタートをとり入れた。
 制限時間なし、浜名湖の自然を一杯楽
 しんでもらいたい想いで、帰ってくるま
 で待っていませんでした。でも、完走パ
 ティーが17時より始まるので、それに
 合わせてほしい。でも完走してほしい。
 とこの大会は浜名湖の自然のすばらしさ
 とロケーションのすばらしさをゆつり
 走って感じてもらいたいという想いで、
 平成10年に練習会を行い、翌年正式に第
 1回大会を行い、今年6回大会になり
 ました。全国のランナーが参加して楽し
 みます。コースはできるだけ浜名湖の湖
 岸沿いを走る80kmとした。80kmは
 ちよつと厳しいが、1日楽しんで走れる
 我々ウルトラランナーにとつてはちよつ
 とよい距離である。マラニックと付けた
 のは、マラソンとピクニックの意味でマ
 イペースで楽しんで走ってもらいたい
 からです。参加者には事前にコースマップ
 を送り、一切サポートなしで、地図を見
 ながら、間違っても自分のせいでいいす
 べて自己責任で走っていただくようにし
 た。入出をスタートして半時計まわり
 鷺津、弁天島、雄踏、和地町、村櫛、館
 山寺まで約50km、ここから細江、寸座
 浜、瀬戸、入出と30kmを走ればぐる
 と一周になるが、館山寺から遊覧船
 に乗ってハマナコスタまでのシャトル
 カットコースも本人の選択でOKとして
 いる。それぞれのペースで楽しんでら
 えばそれだけでいいのだ。
 10月9日、前日は台風22号の影響で
 15人が参加できなくなりましたが、52
 人がスタートラインに立ちました。10月
 10日は台風一過で走るにはとてもいい
 コンディションで、とても楽しそうに

走っていました。ゴールしてからジャグ
 ジー風呂に入りさつぱりしたところで、
 17時から完走パーティーが始まる。シー
 フード、バーベキュー、生ビール飲み放題、
 うなぎの白焼き、その他差し入れもあり、
 すこやかな盛り上がりです。完走パ
 ティーも、まだ走っているランナーもいる。19
 時15分すべてのランナーがゴールの横
 断幕をくぐった。ゴールした時の笑顔と
 完走パーティーの雰囲気を見て今年も
 やってよかつたなあ、とうれしかったです。
 来年は10月9日(日)の予定です。
 (呼びかけ人 萩田 博メダカ)

■なんでもあり農園から

直下型地震に度重なる台風災害が発生
 し、改めて、日本は災害列島であったこ
 とを思い知らされる今年の秋です。不幸
 に遭われた方々には、心よりお見舞い申
 し上げます。静岡県でも伊豆地域などで
 被害がありました。幸いにも三遠南信
 地域では、今のところ大きな災害は起き
 ておりません。しかし、その震度や被害
 は今回の地震よりもはるかに大きいと考
 定震源域に、東海地震や南海地震の想
 入っています。私たちの地域はすつぱり
 わが身と思つて、備えをしていかなけれ
 ばなりません。
 多くの人々の生命財産が脅かされる大
 きな災害が起きていなくても、不謹慎と怒
 られるかもしれませんが、蕎麦も災害を
 受けています。あまり報道されていない
 ので知られていませんが、北海道では台
 風18号により、収穫直前の蕎麦が倒れ
 たりして、近年にない不作になってい
 るようです。国内産の蕎麦の半分以上が北
 海道で生産されていますので、北海道で
 の台風被害は、手打ち蕎麦向け高級品の
 国内産蕎麦の供給に大きな影響をもた
 らしているようです。すでに、いつも取
 り寄せている製粉所から、今年に限り
 海外産の蕎麦を混ぜること、値上げの
 通知が来ました。しかし、全蕎麦粉需要
 の八割は中国などからの輸入で賄われて
 いるので、すぐに蕎麦製品の供給に逼
 迫はないと思います。
 今年は、台風の上陸した数が、これまで
 の記録を更新しています。これと密接

に關係しているようですが、今年の夏は、
 かつてないほどの高温多雨でした。私た
 ちの「なんでもあり農園」でも、平成九
 年の運営開始以来経験したことのないほ
 どの勢いの雑草に襲われました。取つて
 も取つても生えてくる雑草に根負けして
 めて、草刈機で刈り取りました。例年な
 ら、サトウキビが成長して日当たりの悪
 くなる秋間は、あまり雑草が大きくなり
 ませんが、今年は、大きく成長しており、
 サトウキビの収穫の邪魔になるのではな
 いかと心配しています。
 また、かなり前に加茂さんから、ひと
 鞘頂いて育て始めた「ベビーマラカス」
 も大繁殖です。エンドウ豆のように鞘の
 中に種ができて、秋になって枯れると、
 鞘の中で小さなハート型の黒い種が落ち
 振つて見ると「シヤラ、シヤラ」とかわ
 いい音の出る、あの植物です。毎年、種
 を蒔かなくても農園の中で発芽していま
 す。今年も、出る数が異常に多くなりました。
 月初めには、発芽して来ましたが、十
 分なりに種が落ちていて、来年も大繁殖
 するのではなからいと思われます。
 そして、こちらは、小さな青い花とさわやかな香
 りが特徴の「ラベンダー」を植えていま
 す。こちらは、苦手で暑さと雨に負けて
 しまし、かなり枯れたり傷んだりして
 しまいました。北海道の富良野までは無
 理としても、広いラベンダー畑を夢見て
 増やしてきました。後退は避けられま
 せん。一昨年末まではほぼ全部が成功して
 いた挿し木の苗作りも、去年と今年と二
 年連続で全滅していますので、復活は時
 間がかかりそうです。
 本命のサトウキビですが、記録的な暑
 さと雨の多い夏であったので、熱帯性の
 作物であるサトウキビは、大豊作になる
 のではないかと期待していましたが、ま
 あまあの出来と期待していませんでした。ま
 でも、三メートル以上には成長し、台風
 でかなり倒れても、自分でききてきてい
 ます。曲がったサトウキビが多くなり
 収穫のときの皮むきや結束作業がやりに
 くなりそうです。
 こんな夏を通り越した私たちの「なん
 でもあり農園」ですが、来る十一月二十
 八日日曜日に、恒例となりました「サト

ウキビ刈り体験」を行います。昨年は糖
 度がのらずに本格的な収穫作業が出来な
 せんでしたので、サトウキビを好きにな
 けかじつてもらいました。今年も、出荷
 先である「サンサンファーム」の厳しい
 糖度検査の結果次第ですが、サトウキビ
 の収穫体験イベントを行います。サトウ
 キビ刈りその他に芋掘りやバーベキュー、
 手打ちそばなどを用意して、日ごろお世
 話になつていらっしゃる方々への感謝を込めると
 ともに、多くの方々に農や土に親しんで
 頂く大イベントにしたいと考えておりま
 す。是非、御家族お友達とお誘い合わせ
 の上お出かけください。地砂糖の「よこ
 すかしろ」は予約有販売となりますが、
 イベント参加料は無料です。詳しくは、
 なんでもあり農園連絡先の「民芸・喫茶
 『風紋館』(毎週水、木曜日休み 十時
 〇五三七八四八四三三五まで。
 (なんでもあり農園小作人の松)

■第16回いなさ人形劇まつり

第16回いなさ人形劇まつりが、11月
 19日(金)〜21日(日)まで、引佐町
 多目的センターを主会場に開かれます。
 19日は13時半から多目的ホールで井伊
 谷小、奥山小などの体育館の分館公演、
 20日と21日は10時から多目的ホールや
 文化センターなど周辺会場で、かわせみ
 座(東京)、クラルテ(大阪)、むすび座
 (名古屋)、ひとみ座(川崎)などプロ劇
 団21、アマ劇団9の30劇団の人形劇が
 見られます。
 毎年大勢の親子連れなどで大にぎわい
 です。野外でもグルメリヤ物産、人形劇の
 公演もあります。パラメダカが指導して
 いる田沢小のこにこ劇団も出ますよ。
 問い合わせは、引佐町役場企画商工観光
 課(TEL053-5421113)ま

■16年度しずおか未来づくりネット

トワーク交流会
 平成16年度しずおか未来づくりネッ
 トワーク交流会は、当初森町で開催予定
 でしたが「森町はムリ」ということから
 再度幹事会で検討の結果、平成17年1月
 21日(金)静岡市清水の「清水テールサ多
 目的ホール」で開催の予定です。パネ

☆疲れたけど良かった「めだかの学校課外授業」。第一回いなさ湖水源まつり！

「みんなでキレイ!!」を合言葉に、平成16年8月21日、学舎近くの都田川ダム湖で「第一回いなさ湖水源まつり」を開きました。

午前8時半に集合して、伊藤茂男実行委員長のおいさつに始まって、引佐助助役大谷義房元メダカのあいさつ、バラメダカの趣旨説明。9時半、3探検隊に分かれて出発。A班の「都田川源流探検隊」の隊長は上嶋裕志メダカ。73歳から小学校3年生までの幅広い年齢層。急坂、藪漕ぎ、崩落と難所続き。隊長「疲れた、頭が痛い」と帰着後車中で横に。B班の「久留女木の棚田と都田川水中生物探検隊」は、西部農林事務所の前井大介さんを隊長に、地元の前井長一郎さんの案内で、棚田の水源と全体を見て回る。あぜ道の野の草花も楽しみながら。水鳥加寿代メダカ「棚田やりたいたい。貸してくれる?」。嬉しくも戸惑う案内人さん。隊長「棚田は治山治水に大きな役割を果たしている。放置すると水をコントロールする者がいなくなり山崩れを起こす可能性がある」と。C班の「いなさ湖魚種探検隊」は、いなさ湖フイシングクラブの宮分隆成さんを隊長にボートに分乗して湖面へ釣りとお網と。釣った魚は5tの水槽に恐い顔の大型魚ブラックバス、大きめのタイみたいな魚はブルーギル、肌がピンク色に輝く雄のオイカワ、鮎は漁業組合のオジさんが入れてくれた。棚田で掴えたイモリも仲間。後ろから「あ、交尾してる!」「オジさん、交尾知ってる?」「うん」と振り返ると、西川裕子メダカの娘さんたち。今度はイモリに向かって「ダメ!みんなの前でそんなことしちゃあ」。マイッタなア。服部守孝、徳増兼弘、伊藤英雄メダカら竹の筏づくり班は、軽トラ一杯分の発泡スチロールを袋に詰めて浮力に。4mの蓋そう竹10本の重いこと重いこと。ボーイの隊長の指導もあって完成。さあ進水。服部メダカ、隊長、子どもらと湖面へ。うん違う。湖面から見る風景は最高。2陣の原邦司メダ

からは何とかうまくいったが、3陣の西川裕子メダカからは風にも押されて沖へ。「助けて!」とは。筏の竹は竹炭に。みんなゴミ拾いのあと、各探検隊が持ち寄ったボトルの水の水質検査。6種類のパッチテストで6ヶ所の水を検査。やはり水源の水が一番良かった。隣りでは齋藤昭メダカ考案の浄化装置の実験。集場所で県企業局都田浄水場干葉所長が「いなさ湖の水は天竜川の水とブレンドして引佐3町、浜松市の北部、湖西市の上水道と同地域のかんがい用水として使われている」と説明してくれた。16時半からはお楽しみグルメ。五平もちと割き氷、おらんピックのくるくるソーセイジ、松本芳廣メダカ一家の出張手打ソバ、波辺三ツ子メダカのおむすびと、すいたお腹は大喜び。フィナーレは星空のもとでのコンサート。豊橋市の音楽グループ「クロス・ツュー」がハーモニカ、シンセサイザー、琴、パーカッションの異色セッションで軽快なリズムで聞かせてくれた。細江町のハワイアングループが飛び入りで盛り上げてくれた。

引佐町、釣りグループ、漁業組合、西部農林事務所、洪川竹炭工房、地元の人たちなど多くの人の協力で開催することができた。「浜名湖は都田川」。浜名湖の汚れの浄化は、川の上下流域、その周辺の山々、多地域の住環境など、足元の環境保全はもちろんのことだが、地球規模的な広い視点をもつことが必要だと思っている。今回の課外活動は、大きな池に小石を投げ入れただけのもの、2回、3回と続けていくことで波紋が波紋となっていく。そんな思いが広がっていくことを願っている。

◆事務局だより

度重なる台風の上陸、新潟中越地方での大地震。東海地震を背に抱える私たちにとっては人ごとではない。台風23号では、事務局リンデンバウムのシンボル看

板が強風でバツタリ。豊岡村の伊藤英雄メダカのところでは、出荷前のネギがやられてしまったとか。そんな中、「伊藤さん、台風で野良仕事でできず退屈でしょ、「大人のしつけ」の原稿をXで送るから打って照井さんのところへメールで送って!」と、なんと4000字原稿用紙27枚。その字数やおつて知るべし。大人のしつけ」4頁特集をX覧あれ。

さて、46回めだかの学校は12月3日。校長、教頭、用務員の3役は、校長・水島加寿代、教頭・加茂光廣、用務員・原田憲治。若き二人とベテラン教頭。おつとつと。ヤジロベエよろしくどんな授業に。10月8日豊岡村のキッチン味里で職員会議を開く。「45回は話しができてよかった」「いろいろな人を知ることやりたいね」「ムリだよ、1回で2、3人がいいところ」前に出したような人が分かる名簿が欲しい「ブライバシーのこともあり簡単にには出せない」「めだかの学校は自己研鑽の場、自ら能動的に動くべきだよ」「建学の精神に戻ったら」等々、議論白熱?。「9時になったからテーマと授業内容決めよう」と。退職後のライフワークは?「ライフワークって自分勝手にやなの?」「じゃテーマは自分勝手に?」「誰が先生?」「自分勝手に言えばこの人、そのまんま服部工房」。二時間目は、私の大根食べて食べての大谷香代子メダカの「おいしい大根の作り方」。経済も必要だよ。と、定年前に脱サラ、そば修行のあと開業の藤野利昭メダカの「夢と現実の二人旅」。世の中、個性という名の自分勝手が多いもの、後で支える人は大変。感謝していますね。ハイ!!。授業は見事決定。「もっと人を知りたい」の声も多く、給食の時間に班長を決めて自己紹介しよう、あとは班長にまかせて。と。中途半端な酒は出さない方がいい」という意見もあったが、乗り合わせてくる人もいるので、今まで通り少しだけでも出そう。というところに。お別れの乾杯はお汁粉で。

◆今回もお礼とお詫びを!

毎回のことだが発行が遅れてしましました。お許しを!。いろいろ事情はありますが。それにしても伊藤英雄メダカには最敬礼。石野省三メダカ、服部守孝メダカ、本島慎一郎メダカ、松本芳廣メダカ、萩田博メダカ、照井泰子メダカ、エヌビーネットの伊藤多恵子さんありがとう。感謝です。

◆十二期の「めだかの学校」申込を受付しています。

第十二期は、平成16年9月1日から平成17年8月31日です。まだ継続手続きを済ませていない生徒には申込書を同封します。未提出の方は名簿からはずれ自動退学です。ご注意ください。入学希望者がいましたら事務局までご連絡ください。本人に申込書と資料送ります。

(事務局・榊原幸雄メダカ)

◆めだかのたよりの原稿を!

情報ください。地域のイベント、あなたの活動を!待ってます。次回発行日は2月1日です。1月20日までに郵便かFAXで。事務局(FAX 053・545・0381)、メールの方は、照井泰子あて Eメール/teini@net.co.jp メール送信の方は、割付の関係もありますので、事務局に「一報を!」よろしく願います。

めだかの学校事務局
〒431-2531
静岡県引佐郡引佐町東久留女木472-111
榊原幸雄

「リンデンバウム」内
※学舎「みどりの郷」は何もありません。連絡・お問い合わせは「事務局」まで。